

おおとよちょう

(一財)大豊町観光開発協会

～山の暮らしを宝にかえて交流で地域を元気に～



ラフティング体験



大学との連携によるモニターツアー【お茶摘み体験】

経緯

○交流の活発化による地域再生に向け、山村における「日常の生活の営み」や「生産の営み」を教育旅行向け「山里の暮らし体験(農家民泊)プログラム」として造成し、(一財)大豊町観光開発協会を窓口にしたラフティングやトレッキングなどの自然を生かしたアウトドアスポーツとともに販売開始。

取組内容

- 海外からの民泊受入に向け、経験をもとに体験プログラムの改善を図る。
- グリーンツーリズムインストラクターを養成し、体験実施者のスキルアップを図る。
- 吉野川ラフティング体験の予約簡便化を図るため、「大豊町ラフティング部会」を設立し、予約のワンストップ窓口化など、受け入れ態勢を整備。

活動の効果

- 教育旅行の受入人数が対前年比3.4倍と飛躍的に増加。
- 養成したグリーンツーリズムインストラクターが地域のリーダーとなり、メンバー全体のスキルアップにつながった。
- ラフティング受入の体制整備を行った結果、受注件数が大幅に増加。
- 教育旅行を対象とした民泊受入を推進する中で、一般旅行者にも範囲を広げる家庭が出てくるなど、交流を活発化することにより地域に活気が生まれる。

応募団体からのアピール・メッセージ

嶺北地域は山里の暮らしが今もなお残っている自然豊かなところです。また、「土佐あか牛」や「はちきん地鶏」、「棚田米」など食の魅力も高い地域です。暮らしの体験で知る知恵や技、人と人との交流の素晴らしさを是非、体験してください。